

- 記者発表資料 -

**海洋・港湾技術の早期実用化に向けた実証試験の  
公募選定結果について(平成30年度)**  
- 実証試験フィールド(京浜港ドック)の提供 -

先般、平成30年4月18日に「海洋・港湾技術の早期実用化に向けた実証試験」の一般公募を行ったところですが、平成30年6月8日に選定委員会を開催し、企画提案書を審査した結果、2件4社の公募課題を選定しましたのでお知らせいたします。

今後、決定した公募課題について、実施主体と実験時期及び詳細な実験計画等の調整が整い次第、実証試験を進める予定です。(選定結果は別紙1、2参照)

**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

**お問い合わせ先**

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

課長補佐

係長

たかはし やすひろ

高橋 康弘

くぼ てつや

久保 哲也

すが たかし

菅 崇

電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204

平成30年度

「海洋・港湾技術の早期実用化に向けた実証試験」選定委員会

－企画提案書の選定結果－

## 選定課題 1

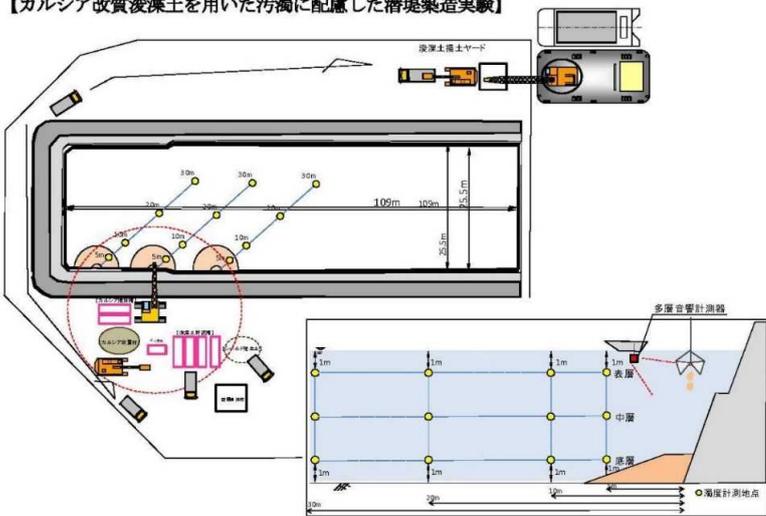
提案者	五洋建設株式会社 土木本部 東洋建設株式会社 土木事業本部 東亜建設工業株式会社 土木事業本部
課題名	海域利用拡大が期待される土砂材料の汚濁拡散特性の把握 と汚濁低減を追求した施工手法の検証

## 選定課題 2

提案者	一般社団法人 海洋調査協会
課題名	水中工事における施工状況把握技術 －水中レーザースキャナーによる精密測定システムの検証－

以上

企画提案書の提案概要

提案者	課題名	テーマ	提案概要 (背景・目的および試験内容)
<p>五洋建設株式会社 東洋建設株式会社 東亜建設工業株式会社</p>	<p>海域利用拡大が期待される土砂材料の汚濁拡散特性の把握と汚濁低減を追求した施工手法の検証</p>	<p>・効率的な港湾工事の施工技術</p>	<p>本試験では、カルシア改質浚渫土を海域に投入する際に汚濁を極力抑制できる施工条件と、形成される堤体の性能を確認することで、汚濁拡散防止対策が不要(軽微)な潜堤築造工法の実現性を検討する。</p> <p>(実証試験概要イメージ) 【カルシア改質浚渫土を用いた汚濁に配慮した潜堤築造実験】</p> 
<p>一般社団法人 海洋調査協会</p>	<p>水中工事における施工状況把握技術 —水中レーザースキャナーによる精密測定システムの検証—</p>	<p>・効率的な港湾工事の施工技術 ・航路啓開における測深・海底状況把握技術 ・海洋における有用な調査技術</p>	<p>浅海域と同様な条件における、水中レーザースキャナーの基本的な性能を確認する実験を行い、使用上の留意点としてまとめ、今後の実海域での利用に資するものである。</p> <p>(実証試験概要イメージ)</p> 